

# (株)豊田自動織機様 ボランティアありがとうございました

11月15日(日)(株)豊田自動織機 社会貢献グループ 東知多工場班長会22名の方が、今回16度目の福祉施設ボランティアに来てくださいました。駐車場の草刈りや洗車、窓・エアコンの清掃・ペンキ塗り、などをしてもらい大変きれいになりました。



以下は役員さんの感想です。



今年コロナ禍での活動になり『やれないと思わず、どうやったらやれるか考える』この言葉を意識して準備してきました。役員で意見を出し合い不安の中での開催でしたが、りんりん様のご協力と参加者の前向きな姿勢に救われ実施する事ができたと思っています。これからも社会貢献活動を通じ地域の方との交流を大切にしていきたいです。



今年コロナ禍の影響で人数制限・作業前の検温・こまめな消毒・作業中でのソーシャルディスタンス等、例年とは違う活動にはなりましたが、りんりん様ご協力のもとお互い工夫を凝らし、例年と大差のない活動ができたのかなと思います。来年はコロナ禍が終息し、みんながマスクを外し笑顔で活動を行い、活動後のおいしいカレーが食べられる日を願っています。



事前準備と買い出し等、裏方としての活動で頑張らせて頂きました。りんりん様のご理解とご協力があったりやり切れたと思います。コロナに負けず、来年度以降も清掃活動を通じて交流が続くよう願っています。



コロナ禍での活動となり例年とは異なる部分も多くなりましたが、その中でも、例年と同等の活動ができた事はりんりん様や活動に参加された皆様のおかげと感謝しています。また、りんりん様と東知多班長会のこのような関係をコロナに負けず維持できた事を大変うれしく思います。



令和3年(2021) 1月

No.86

発行/特定非営利活動法人 りんりん  
半田市岩滑高山町5丁目4番地  
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623  
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

## ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が  
りんりんを支えています。

### ご寄付ありがとうございます

村松 咲子 杉 文雄 蛭川 勝巳 角谷 重則  
イシハラフード星崎店 明治ホールディングス(株)株主  
半田中学校1年生 サンクテーパー  
半田市社会福祉協議会 (敬称略)

## りんりんのできごと

りんごクラブ

- 10/19 駄菓子屋さん
- 11/16 駄菓子屋さん
- 11/2～1/31 けん玉・コマ検定
- 12/23 フードトラックが来ました。

やなべつ子食堂

- 10/4(日) おにぎり・豚汁
- 11/7(土) クレープキッチンカー
- 12/6(日) カレーライス



「衣浦菊花会」会員様より今年も見事な菊を持って来ていただきました



### ～ ヘルパー研修会 ～

- 10月 感染対策  
「あなたが利用者宅にウイルスを持ち込まないために」…… 47名
- 11月 高齢者・障がい者の虐待防止 …………… 30名
- 12月 感染症の予防 …………… 40名
- ※10.11.12月オンライン研修をしました。

### 多世代交流事業

	10月	11月	12月
生き生きサロン	133名	77名	52名
さをり織り	38名	28名	22名
絵手紙	10名	18名	12名

(R2/12月末現在)

### 会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
26名	44名	100名	170名

(R2/12月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしく願いいたします。



新型コロナウイルス感染症の終息は中々落ち着いてくれない日々が続いており、2020年の流行語大賞は「三密」、漢字一字は「密」とやはりコロナ関連の言葉でした。

「三密」は真言宗の教えで、身密「しんみつ」口密「くみつ」意密「いみつ」といわれ、弘法大師が唐から伝えた密教の「密」を指しています。身体や行動(身)を整え、言葉や発言(口)を正しいものとすれば、おのずと心や考え(意)も整う。これらを実践すると心穏やかに過ごせるという教えだそうです。

密閉、密集、密接、の三密とは程遠い言葉です。現状では新しい生活様式で毎日を過ごさなければならない日常を送っています。半田市では毎日のように感染者の報告があり、他の事業所からも感染者の報告がFAXで届いており、緊張した日々が続いています。

そんな中、(株)豊田自動織機東知多工場の班長会の皆様が、ボランティア活動に訪問してくださいました。例年は年に2回の開催ですが、6月は中止となりました。新美会長さんから11月の活動に向けて何度もメールをいただき、調整、実施していただきました。当日に「会社での様々な行事が中止される中、このような時期だからこそ是非活動したい」と上司の方々と打ち合わせをし、開催にこぎつけた旨を会長さんの挨拶で知ることとなりました。さらに6月に休業していたこともあり、前日の土曜日にも出勤された方がいらしたとのことで頭が下がる思いでした。6月には子供たちにお菓子のご寄付を頂き、りんりんの事を気遣って下さっていること、緊張した日々の中でもこころ温まる思いがいたしました。このような時期こそ、りんりんとして何が出来るか?を考えることが必要と思っています。まだまだコロナの終息は先が見えない状況ですが、「密」の意味を改めて考えながら、穏やかに過ごすことができる一年になりますよう願っています。

理事長 渡邊 千恵



こんにちは



## “さをり織りは 自由な発想で”

ちかこ  
井坂 周子さん

インタビューしたのは12月3日、まさに世間の人々がコロナ禍に怯えている時である。マスクのせいで顔全体は見えないけれど、弾けそうに明るい雰囲気直に伝わってくる井坂さん。初対面なのに全く緊張感はなく、いきなり井坂さんが着ているさをり織りのベストの話題に入る。型紙も製図も無しで、長ささをり織りの布のこちらの端をこう折って、その後ここを切って、とその説明の要領の良さ。現在りんりんでさをり織りの責任者をしている井坂さんだが、さをり織りとの出会いは、大学生の時、アルバイトで来ていたりりんりんでのこと。地元交流のイベントとして企画された「絵手紙とさをり織り」で、この企画に携わったことがきっかけだったという。このりんりんでの活動は、彼女にとっては人生の転機にもなったのである。この企画に携わる中で知り合った男性が今のご主人で、頻りにメールのやり取りをした。しかし、実際に会ったのはりんりんの新年会だった、というのが面白い。お子さんは二人で、いま中学生。ほぼ毎朝一緒にしている「100マス計算」は、数学の勉強にも役立つ立っているらしい。

現在さをり織りに来ているのは地域の人たちがほとんどで、夏休み、冬休みには子供たちも来るそうだ。さをり織りは、自由な発想を基本にしているので、配色などに口をはさむことは無いそうである。「りんりんのさをり織り」を支えているのは、井坂さんのこの明るさであることは間違いなく、と実感した。



## りんごクラブ

### フードトラックが来たよ！

12月23日(水)終業式の日“みんなでランチ”をしました。コロナ禍でみんなの食事を作るのが難しいので、“寿がきや”フードトラックに来てもらいました。ラーメンと五目ご飯のセットです！間隔を広く空けてそれぞれ食べました。みんなで一緒のものを食べるのは楽しいです。温かくてとてもおいしかったです。また、食べたいな！



## やなべっ子食堂

### 明治ホールディングス(株) 株主様より ご寄付いただきました

明治ホールディングス株主優待品で株主様からの寄贈品がやなべっ子食堂に送られました。たくさんのチョコレートやお菓子が詰まった段ボール箱が届き子どもたちは大はしゃぎ!!



### クレープ屋さんが来たよ！

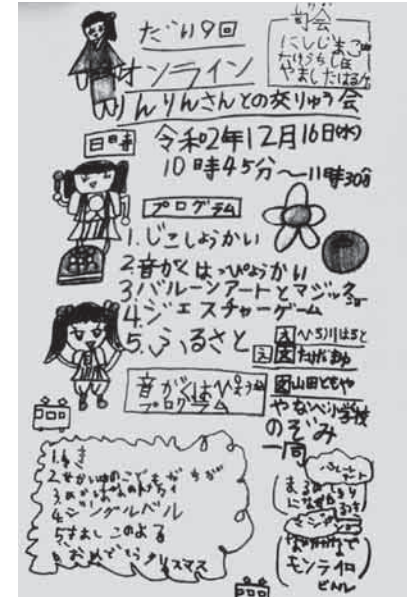
11月7日(土)サンクテーブル(成岩3区の子ども食堂)さんの企画でりんりんにもキッチンカーが回って来ました。子ども、高校生、大学生、大人、合わせて63人が参加しました。チョコレート・ストロベリーなどのクレープを作ってもらい、そのあと、くじ引きをしたりお菓子をもったり、子どもたちは大満足。



## りんりんデイサービスセンターの出来事

### 岩滑小学校のぞみ学級と交流会

12月16日(水)“のぞみ学級”の子どもたちと、りんりんデイサービスセンターとのオンライン交流会が行われました。



以下は、特別支援学級担任の先生からの感想です。交流会も9回目となりました。「自分という存在は誰かに何かをやってもら

ばかりでなく、自分という存在が誰かを笑顔にしたり、希望を与えたりする。」そのことに気づいてほしいと願い、スタートしました。続けてきて分かったことですが、この場が子ども達の成長に繋がっています。話が苦手な子が話せるようになり、自信のない子が司会をやるようになりました。デイサービスのみなさんも、歌を練習してくれたり、プレゼントを用意してくれたりしています。「お互いにとって、メリットが生まれる。」そんな交流会を今後も続けていきたいと思っています。

### りんりんピック(運動会)

10月28日(水)・29日(木)玉入れ・ワンちゃんおいでおいで体操など、ちょっとだけ体を使った運動会を開催しました。



足を使ってタオルの上のペットボトルを自分に近づけます